

週間漁海況情報—第29号

平成24年7月23日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

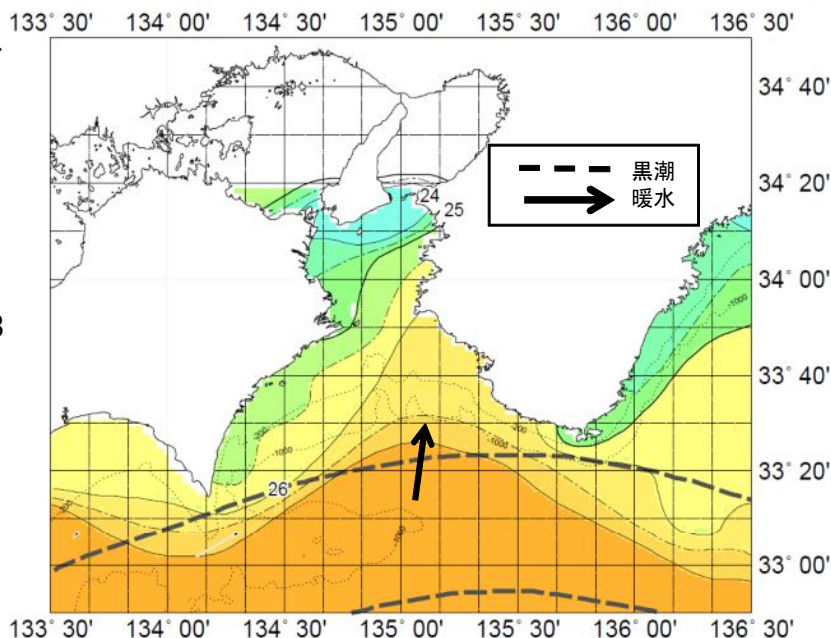
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.7.23）を示した。

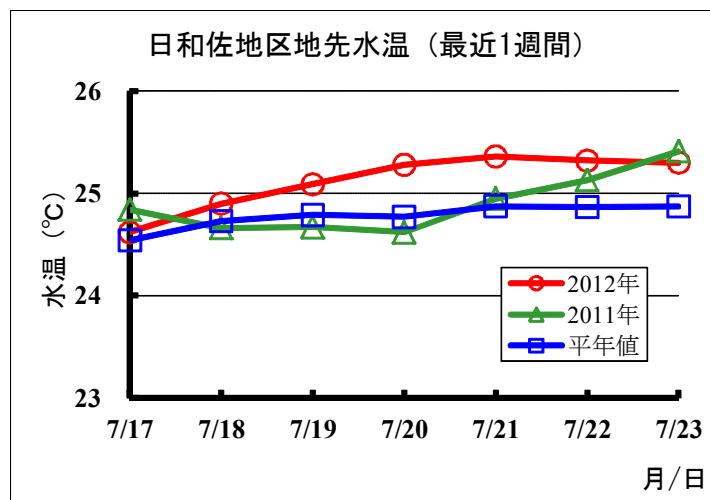
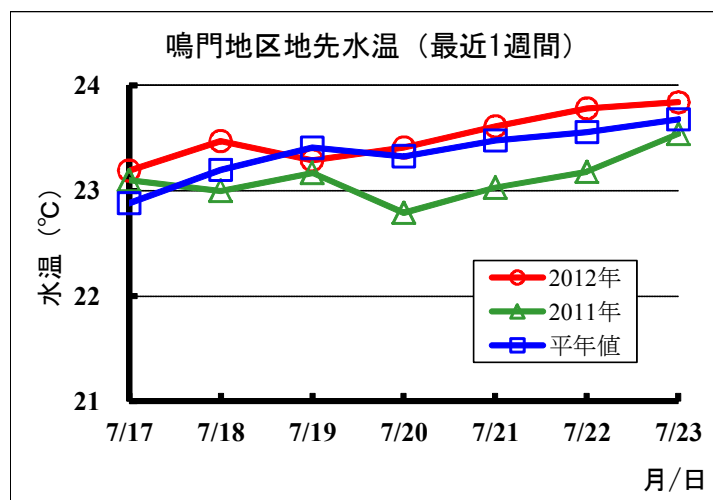
黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で23℃台、紀伊水道で23～25℃台、海部沿岸で25～26℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から暖水流入がある。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の23.2～23.8℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の24.6～25.4℃、牟岐地区は「やや高め」の25.1～26.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアカムツが0.1トン（1日1隻当たり32kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.2トン（同11kg）、マルソウダが0.1トン（同10kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にアカムツが0.2トン（同17kg）、中・大主体にゴマサバが0.2トン（同17kg）、大主体にイサキが0.2トン（同10kg）、マルソウダが0.1トン（同6kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.1トン（同11kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが116.3トン（同750kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月16日～23日

漁業種類別集計表（続） 7月15日～15日

県下6漁協から聞き取り						
漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	4	130	32	中主体
小型定置網		マアジ	17	190	11	マメ主体
		マルソウダ	14	145	10	
釣り		アカムツ	14	245	17	大主体
		ゴマサバ	11	182	17	中・大主体
		イサキ	19	181	10	大主体
		マルソウダ	21	130	6	
	紀伊水道	タチウオ	10	108	11	特大主体
パッチ網		シラス	155	116,250	750	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年7月18日～24日は、週後半まで台風6号の波浪により、出漁回数が少なかった。海部沿岸では、小型定置網でウルメイワシが0.4トン、小小主体にカマス類が0.1トン、中・小主体にマアジが1.4トン、釣りで小主体にゴマサバが0.1トン、マルソウダが0.6トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが21.4トン水揚げされた。

他県情報：宮崎県（7月12日～18日）のパッチ網により、土々呂でシラスが5.3トン（5統合計）、延岡でシラスが2.0トン（2統合計）水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の23～24℃台、日和佐地先で「平年並み」の25℃台で推移する見込み。